

地の雨活

(雪だって空からのおくりもの)



札幌市立円山小学校

5年 赤祖父ゆず香

目的

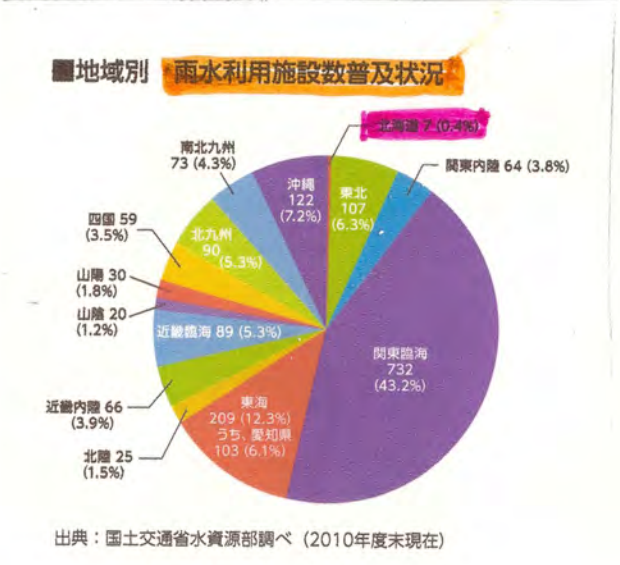
私の住む北海道の雨水利用が

全国でワースト1位だということを

知って、北海道でできる雨水利用や

自分でできる雨水利用には、

どんなことがあるかを考える。





雪活は
どうか?

< 札幌の現状 >

- 札幌市には1年間で約6メートルの雪が降ります
- 人口100万人以上の都市でこのように雪がたくさん降るところは世界でほかにありません
- この雪の有効利用を考える

札幌の



4

札幌(近りんの市)には雪たい積場が約70カ所あります。

そこに運ばれる雪は多い年で、ひと冬に

札幌ドームの約14杯分あります。



この雪を

有効に使いたい!!

雪活したい!! 雪活しよう!!

アイデア1

理想の雪活利用

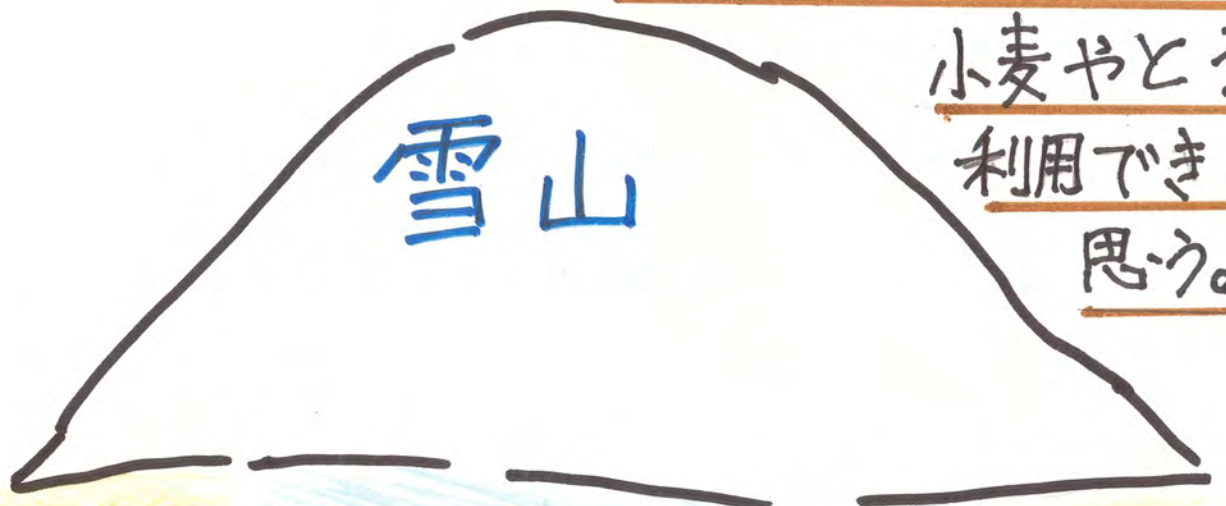
溶けた雪を雨水として貯蔵



[イメージ]

雪たい積場のとなりに貯水システムを
設置して雨水を貯め、春～秋にかけ
市内近郊の畑に利用する。

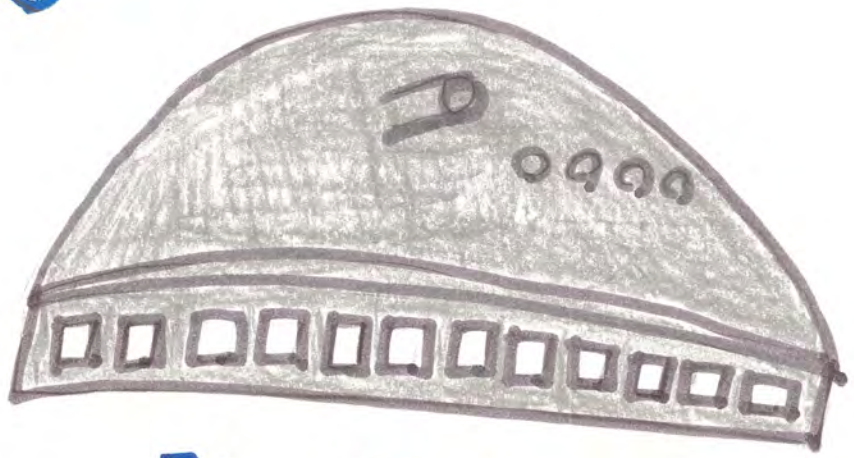
★札幌名産の玉ねぎ、江別名産の
小麦やとうきび畑に
利用できるといいと
思う。



アイデア2

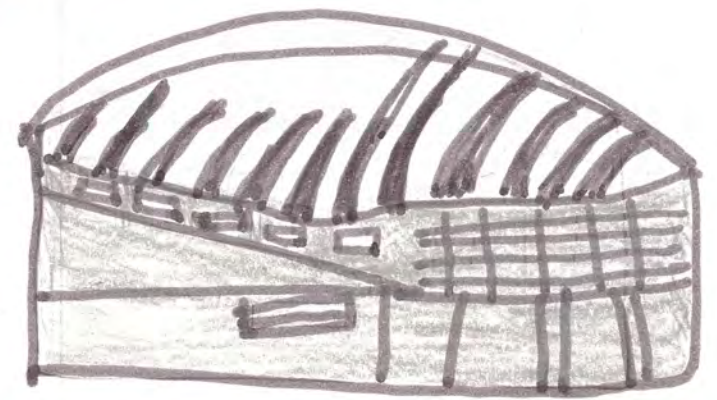
近い未来に実行可能な雪活

①



「札幌ドーム」

②



「スポーツ交流施設らびむ」



③



市内の体育館、各学校

スポーツ施設内に雪を貯める貯水(雪)槽を設置して、雪溶け水を競技選手に利用してはどうか？
→ 実際は自分自身が「らびむ」で毎週水曜日陸上の練習をして、思いついた。

スポーツ競技選手への雪活具体例

1 ねんぎをした人の手や足を冷やす



製氷皿で氷を作る



できた氷をふくろにつめる



水の張ったバケツに氷を入れたふくろを入れる

くふう

雪を溶かした水で作った氷なので、直接足につかないように氷をふくろに入れた。

実際に12月15日(日)に降った雪で雪活

わたしの雪活



氷を作る



氷ができた

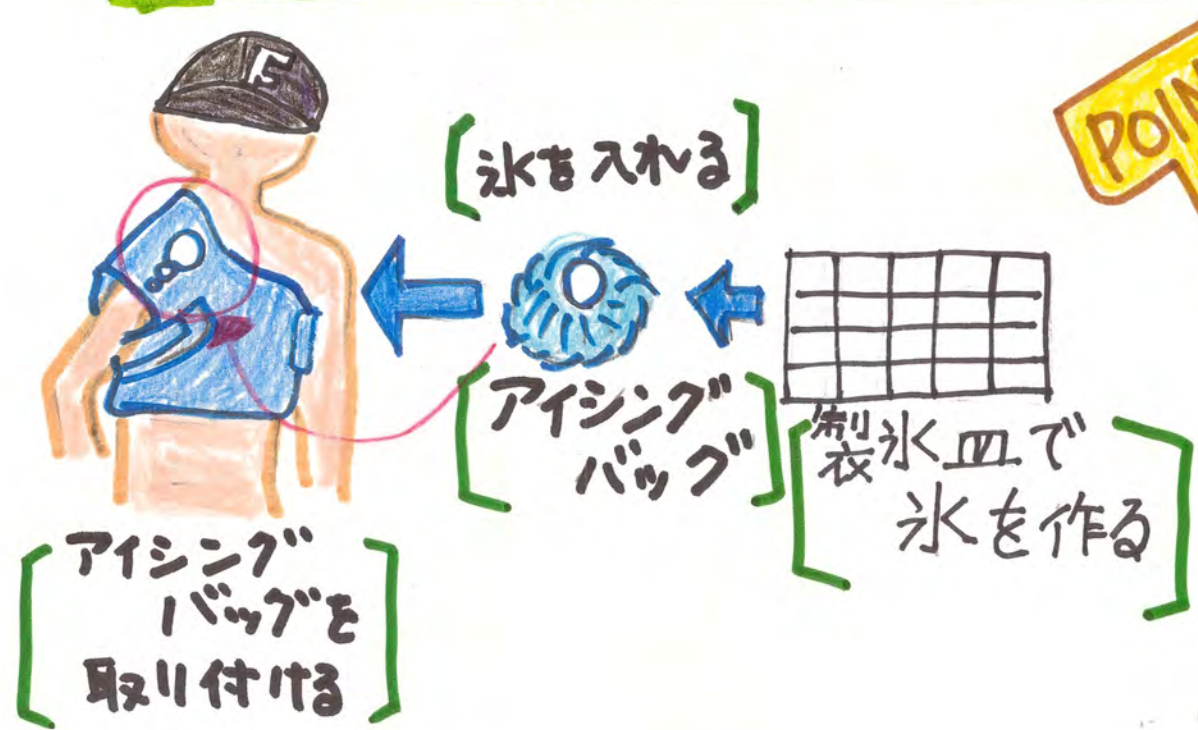


ふくろに入る



バケツに氷を入れる

2 例えば、野球選手の練習後や試合後のピッチャーの肩のクールダウン



雪を溶かし、氷を作る
↓
氷をアイシングバッグに入れる
↓
アイシングサポーターにセットする

3 ランニングした人の足をクールダウン



バケツに
水を張る



雪を溶かし、
氷にした



実際に1kmランニングした後、
雪を溶かして再度氷にし、
クールダウンに挑戦



クールダウン

雪活

実験

イメージしたものを具体的に実験

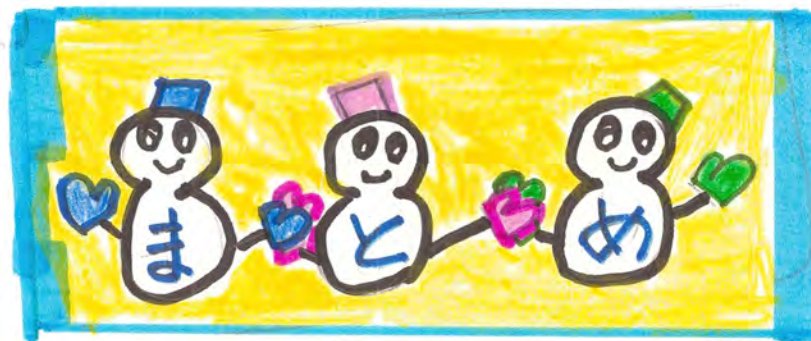
考察

いつも自分が陸上の練習の時しているような
クールダウンと変わりはないと思う



結果

雪を使用したので、氷をふくろに入れて使用したが、
全体的に冷えるというより部分的に冷えるという感じ
だったので、ふくろに入れるのなら、小さいふくろを3つくらい
にしたらよいと感じた。



1. 雨水の活用を雪で考えました。自分だけの実験で終わったので、来年は雪活を私の通っている陸上クラブのみんなにも試してもらって感想を聞いてみたいです。
2. 年に1回とか2回とか雨活(雪活)週間をつくらせて意識的にみんなが自分でできることから始めたらいいと思いました。
3. 札幌市の除雪費用は、旧約1億、2000万円、ひと冬で150億円かかることを勉強しました。除雪の費用がとても多いので、雪たい積場の近くに雪溶け水を貯めるシステムを作って、利用すると除雪費用もかからなくなり、雨活(雪活)としてとてもいいと思います。